

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立府中けやきの森学園 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成

事務局長：主幹教諭（教務主任）

事務局員：主幹教諭（B部門小中学部担当）、主幹教諭（B部門高等部担当） 計3名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長3名、経営企画室長、主幹教諭3名 計8名

(4) 協議委員の構成

渡部 匡隆氏（横浜国立大学 教授）

宮崎 家光氏（株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 管理本部総務人事部 担当部長）

澁谷 和彦氏（都立府中療育センター 院長）

高汐 康浩氏（府中市立府中第二中学校 校長）

佐藤 慎也氏（ハローワーク府中 府中公共職業安定所 所長）

柳澤 智仁氏（多摩府中保健所 歯科保健担当課長）

高橋 美佳氏（社会福祉法人あけぼの福祉会 地域生活支援センターあけぼの 所長）

松崎 伸一氏（社会福祉法人はなゆめ 本部事務局 理事長）

伊藤 聖子氏（調布市福祉健康部子ども発達センター センター長）

内藤 英子氏（都立府中けやきの森学園 PTA統括会長） 計10名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容

第1回 令和4年7月6日（水）10時00分から11時30分

出席者：内部委員8名、協議委員9名

内容：①校長挨拶 ②令和4年度学校経営計画について ③教育実践の視察 ④意見交換

第2回 令和4年11月2日（水）10時00分から11時40分

出席者：内部委員8名、協議委員10名

内容：①校長挨拶 ②学校経営中間報告について ③教育実践の視察 ④意見交換

第3回 令和5年3月1日（水）10時05分から11時45分

出席者：内部委員8名、協議委員7名

内容：①校長挨拶 ②学校評価アンケート結果について ③意見交換
④次年度に向けた提言について

(2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容

第1回 令和4年7月6日（水）9時24分から9時58分

出席者：内部委員3名、評価委員2名

内容：①学校運営連絡協議会評価委員会実施計画について ②学校評価アンケートについて

第2回 令和4年11月2日（水）9時24分から9時58分

出席者：内部委員3名、評価委員3名

内容：①学校評価の基本方針について ②学校評価アンケート項目・調査手順について

第3回 令和5年3月1日（水）9時30分から9時55分

出席者：内部委員3名、評価委員2名

内容：①学校評価アンケートの集計結果について ②評価委員会提言について

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

第1回：12月実施

| | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 全校児童・生徒 | 対象：401人 | 回収：326人 | 回収率：81.3% |
| 保護者全員 | 対象：396人 | 回収：231人 | 回収率：58.3% |
| 全校教職員 | 対象：204人 | 回収：204人 | 回収率：100% |

(3) 主な評価項目

保護者、教職員

学習指導／児童・生徒理解、生活指導（SOS出し方指導）、危機管理（安全・安心な学校）、学校経営（経営会議・事業施行計画）、健康教育、オリンピック・パラリンピック教育、ライフ・ワーク・バランスの推進、感染症予防対策、教育活動の充実、研究・授業改善（QOLの向上）、外部専門家活用、ICT機器活用、教職員行動指針

全校児童・生徒

授業、学校生活に関わること

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・教職員からほぼすべての項目において9割を超える、中には100%に近い「満足」という評価が得られた。
- ・保護者からは、部門・学部ごとの基本方針策定は約81%、東京型教育モデルの推進は約77%、教育活動の周知方法の充実は約82%、研究活動の充実は73%、教育課程の改善は67%、定期的な安全点検に基づく「4S（整理・整頓・清潔・清掃）の活動は約91%、ICT機器の活用推進は約58%、教職員行動指針の策定と公表は約71%、体力向上等に関する取組は約77%、安全に関する取組は約86%、新型コロナウイルス感染症対策は約81%、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進は約65%、体罰の禁止・根絶やいじめの未然防止・早期発見・早期対応に関する取組は約75%と、半数の項目で7割を超えて「満足」という評価が得られた。
- ・すべての学部、すべての児童・生徒から学校に対する声を聴こうとする姿勢は大いに評価し、回収率が約81%であったことはとてもすばらしいと思う。一人1台タブレット端末を使って、自分で回答できる児童・生徒もいたことから、タブレットを使って選択式で回答できる方法の有効性が確認できた。
- ・保護者の学校評価アンケートの回収率がやや低い。全体で6割弱の回答率となっている。また、「判断できない」との回答がまだ多い。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

① 学習指導について

- ・児童・生徒が主体的に意欲的に授業に参加している姿があった。引き続き、個々の実態に応じた指導の充実とともに、東京型教育モデルの推進を行っていくこと。

② 学校経営について

- ・学校経営方針及び教育部門別の学校経営計画が明確化され、徹底がなされている。今後も一層の理解浸透に向けて、説明を継続すること。

④ 児童・生徒アンケートについて

- ・一人1台タブレット端末を使って、自分で回答できる児童・生徒もおり、回答率についても前年度から上がっていることから、タブレットを使って選択式で回答できる方法の有効性が確認できた。今後、好きな教科（活動）、嫌い・苦手な教科の理由も確かめつつ、その内容を教育活動にフィードバックしていただきたい。

⑤ 全般

- ・今年度、校長が着任して2年目となり、校内組織や校内環境の整備に加え、学校経営方針である児童・生徒のQOL（Quality of Life：生活の質）の向上と安全・安心な学校づくりも定着してきている。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校経営方針としての、児童・生徒のQOL（Quality of Life：生活の質）の向上と安全・安心な学校づくりが定着してきており、さまざまな意欲的な取組が進められた。
- ・全校児童・生徒を対象のアンケートでは、一人1台タブレット端末を使って、自分で回答できる児童・生徒もいたことや、昨年度よりも回答率が上がっていたことから、タブレットを使って選択式で回答する方法の有効性が確認できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・保護者の学校評価アンケートの回収率がやや低い。全体で6割弱の回答率であったことから、回収率を上げる工夫が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症対策からウィズコロナへとうつり、徐々に、授業参観など保護者が学校を訪れる機会が増えてきている。その中でも、保護者への周知を行う必要がある。
- ・具体的なQOL向上のための取組や安全・安心な学校づくりのための取組を、児童・生徒、保護者、地域に分かりやすく発信する必要がある。
- ・オンラインを組み合わせたハイブリッドな対応を工夫していく中で、保護者と学校との心理的距離感を身近に感じられ、児童・生徒が充実して取り組んでいる姿を、リアリティをもって感じられるように対応する必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(学校経営計画へ反映)

(1) 学校運営

- ・校内の組織力を高め、児童・生徒のQOLの向上や安心・安全な学校づくりに向けて確かな力を付けられるよう、教職員一人一人の専門力の向上を図る。
- ・本校の教育活動、ICT機器活用、研究活動等の学校の取組を積極的に情報発信する。

(2) 学習指導

- ・児童・生徒一人一人の障害の程度、能力、特性等実態を的確に把握して、外部専門家（ICT教育アドバイザー）と連携し、研修や授業改善を図る。
- ・教職員は、ICT機器の活用をより進め、児童・生徒の教育効果を高める。

(3) 特別活動

- ・児童・生徒が主体的、意欲的に参加できる学校行事を行う。

(4) 生活指導

- ・SOSの出し方について、困ったときには相談することの大切さを考えさせ、児童・生徒の実態に応じた取組の充実を図る。
- ・避難訓練や防災宿泊訓練等、地震や火災の他、風水害等、さまざまな自然災害に関する学校の安全に関する危機を想定し、防災等危機管理体制を構築する。

(5) 進路指導

- ・児童・生徒の将来の生活を見通したキャリア教育を充実させるとともに、小学部から高等部の卒業を見据えた一貫性のある指導を行う。
- ・保護者進路セミナーの開催や保護者会での説明を通じて進路に関する最新の情報を発信する。

(6) 健康・安全

- ・学校保健計画に基づいた健康教育及び学校医、学校歯科医、学校薬剤師等と連携した組織的な健康教育を推進する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 10人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

- ・アンケート調査等を行っていないが、各協議委員から、学校の取組について評価していただき、学校運営や今後の改善について期待を寄せられており、概ね良好であると判断する。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・参加実績なし

8 その他

- ・特になし。